

クリーンパークわかすぎ・酒水園を視察

10月8日(火)に篠栗町にあるごみ燃料化(RDF)処理施設「クリーンパークわかすぎ」と粕屋町にあるし尿処理施設「酒水園」を視察しました。

クリーンパークわかすぎは、令和9年度でRDF処理施設を閉鎖し、最新式の回転ストーカ式焼却炉の新しいごみ焼却施設の整備に着手しています。

し尿処理施設の酒水園も、昭和57年に開設され老朽化が進んでおり、今後の維持管理が課題となっています。



クリーンパークわかすぎの集中管理室



新たな焼却炉の建設予定地



燃えるごみに金属片が混入し破砕機故障の原因に



酒水園ではし尿や浄化槽汚泥を浄化し下水道に放流

議会からひと言

RDFの整形過程では、家庭ごみを破砕する際に金属が紛れていると、機械故障の原因になり、莫大な修繕費用がかかります。維持管理費の軽減のためにも、ごみの適切な分類がいかに大切なのかを周知徹底する必要があります。

宇美志免リサイクルセンター・宇美志免浄化センターを視察

8月7日(水)に宇美志免リサイクルセンター「エコル」と最終処分場、老朽化が進んでいる宇美志免浄化センターの稼働状況を視察しました。

本町の廃棄物がどのように処理されているのかを知り、今後の広域連携に向けてどう再構築すべきなのかを模索するうえで、重要な視察研修となりました。



リサイクルセンターエコルのストックヤード



人の手による仕分け作業



最終処分場の水処理施設で綺麗にした水を放流



宇美志免浄化センター(し尿や浄化槽汚泥を浄化している処理施設)の視察



議会からひと言

リサイクルセンターエコルでは、学校や自治会などのグループでの見学ができます。

資源ごみを分別する大切さを知り、みんなでごみの減量化に取り組んでいきましょう。

議会広報常任委員会

愛知県阿久比町議会だより編集特別委員会の視察受け入れ

10月31日(木)に愛知県阿久比町の議会だより編集特別委員会の視察研修を受け入れました。

阿久比町からは令和元年度以来2度目の受け入れとなり、私たち宇美町議会広報常任委員会としても、成長の軌跡をお示しすることができたと思います。

今後も全国から視察に来ていただける「うみ議会だより」を目指し、研鑽を深めてまいります。



子育て応援事業の拡充

社会の基盤を維持していくうえで少子化対策は今や全国で喫緊の課題となっています。町では「子育てするなら宇美町で」を合言葉にさまざまな形で子育てを応援する事業の拡充が行われており、その具体的な内容をお知らせします。



物価高騰でも安心でおいしい給食を 保育所等給食支援費補助事業（令和6年度新規事業）

物価高騰対策として保育所等の給食に係る材料費高騰分を助成する

補助対象施設／私立保育所等
補助対象期間／令和6年4月から
令和7年3月まで

負担割合／県2分の1、町2分の1

対象経費／補助金交付見込額
734万2800円

県補助金見込額 367万1000円



タクシー利用時などに利用できる 妊産婦応援事業（うみパック）

詳しくは
こちら



妊娠・出産・産後の母親の心身の回復や
育児不安の軽減を目的に、
1人当たり合計4万円を上限として
経済的支援を行う。
ただし、ふたごなどの場合は
2人目以降のこども1人につき
5000円を加算。

妊産婦タクシー利用料助成事業
妊産婦ヘルパー(家事)派遣費助成事業
妊産婦ヘルパー(育児)派遣費助成事業
産前産後サポート相談事業(保健師、栄養士、保育士)
産後ケア利用料助成事業(訪問)乳房ケア
産後ケア利用料助成事業(訪問)沐浴
産後ケア利用料助成事業(日帰り)
産後ケア利用料助成事業(宿泊)
ファミリー・サポート・センター支援活動報酬助成事業



産婦人科からの紹介で、町に問い合わせたら
すぐに説明に来てくれて、とても助かりました。

委員会より

子育てといえば、とにかく出費のかさむものですが、現在は特に物価高騰が追い打ちをかけている状況です。今後も安心して子育てできるように、さらなる制度拡充を目指していきます。

おごおり防災士会を視察

10月3日(木)に総務建設常任委員会と
地域コミュニティ課職員4名で、おごおり防
災士会を視察しました。

おごおり防災士会は、日本防災士機構の
「防災士」の資格を有する者で構成するボ
ランティア団体(平成28年9月設立、会員数
33名)として活動されています。

小郡市では自治会(62自治会)に「自主防
災組織」が設置されており、この自主防災
組織と8小学校区の協働のまちづくり協議
会の校区防災部会が連携・協力しながら地
域の防災活動に取り組まれています。

視察では防災部会・自主防災組織の防災
訓練、防災リーダー養成講座などの活動状
況やおごおり防災セミナーの紹介、行政機
関やボランティア情報センターとの連携な
ど防災・減災の取組について説明を受け、
意見交換を行いました。

◆おごおり防災士会の特徴

(1)中間支援としての役割

行政でもなく自治会(自主防災組織)やま
ちづくり協議会(校区防災部会)でもない
立場で、行政と地域をつなぐ役割を果た
している。

(2)行政との連携(課題と対策の共有化)

市の地域防災計画における地域の自主
防災に関する取組方針や、それぞれの自
主防災組織の課題と対策について、常に
行政と共有化している。

(3)地域の災害特性の把握

小郡市内を活動拠点とすることで、市内
の地震や水害などの災害特性が把握で
きており、それぞれの地域の災害リスク
に対応した活動が可能。



委員会より

この研修で、防災士会の設置の大切さを学びました。また、11月に総務建設常任委員会
で自主防災組織の取組の先進地である松山市の視察を計画しています。そこでさらに調査
研究を深め、本町でも防災士会の立ち上げや自主防災組織の100%設置を目指し努力して
いきます。